

平成二十五年 大学院人文科学府 博士後期課程 第2期入学試験問題
(日本語)

答えは、解答用紙に書きなさい。その際、「問1ア」「問2①」などと記し、どの問いに対する解答かを明示すること。問1から問4までは、「A」の文章について、問5は、「B」の文章についての出題である。

〔A〕

次の文章は、「正しい読み」とは何かということについて、例として、川端康成の『伊豆の踊子』を取り上げて論じた文章の一部である。冒頭に「問題」が掲げられ、続いて、『伊豆の踊子』の問題となる箇所が抜粋があり、著者・川端康成による解答と解説がそのあとに述べられている。それらを読んで、以下の、問1から問4に答えなさい。

問1 次の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

(二十点)

ア. 伊豆の踊子 イ. 孫 ウ. 疑問 エ. 別人 オ. 主格

問2 川端康成による解答と解説にもとづいて、サイデンステッカー氏が次の問題にどのように答えたか、書きなさい。

(十點)

- ① 「さよならを言おうとした」のは誰か？
- ② 「うなずいて見せた」のは誰か？

問3 著者である川端康成の解答は何か、書きなさい。

(十點)

- ① 「さよならを言おうとした」のは誰か？
- ② 「うなずいて見せた」のは誰か？

問4 川端康成は、どうして、わざわざこのような解説を書いたのか、この文章に基づいて推測して答えなさい。

(二十点)

著作権保護のため、この Web 公開版では問題文を削除した。

平野啓一郎 『本の読み方 スロー・リーディングの実践』、一七七・一八一頁

[B]

問5 次のメールの文章を、できるだけ適切な日本語に書き換えて、解答用紙に書きなさい。
(四十点)

○○先生

私は○○○と申します。満二十二歳の女の子です。今年7月に○○○大学の日本語学部から卒業しました。大学時代の4年間、日本語をゼロからしっかりと勉強してとうとう夢中になってしまったのです。そのうち、英語の勉強も進めたのです。私は語学が大好きだから、日本語一級資格に合格しました。

私はこれからの進路を真剣に考えた上、日本の大学に留学することになりました。先生の研究テーマを拝見すると、とても面白く思いました。ぜひ先生のもとで○○○への理解を深めたいと思っております。この通り、来年桜の花びらが散る時期、ぜひ研究生として先生のご指導を伺いたいと思っております。もちろん、半年後は院生入試に受験して、先生の下で院生となって研究を続けるつもりなんです。

私の履歴書を添付ファイルにしました。研究計画書はまた未完成だから、今度お届けするつもりです。
